

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	しあわせ駅早良			
○保護者評価実施期間	2025年 10月 1日 ~ 2025年 10月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数)	21
○従業者評価実施期間	2025年 10月 1日 ~ 2025年 10月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 11月 11日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	休日は外出活動を積極的に行っている。	保護者様からの「外出させてほしい」ニーズにできる限り応えることができるよう計画を行っている。	前年度に比べ休日利用のニーズが高まっており、人員体制に 対して利用児童の障がい特性のバランスが取れなくなっている。出来る限り人員確保を行い、外出のグループを分けることで利用児童が退屈にならないようにしていくとともに、児童・職員の安全を確保していく。
2	平日の活動内容が比較的ゆっくりしており、利用児童がストレスを感じないように過ごすことができている。	活動内容の強要はせず、利用児童の特性に合った活動を主体として過ごすことができるようしている。	継続して人員確保に努め、平日の公園遊びや賛意等を取り入れていくことができるようにしていく。また、製作活動の内容を充実させることで、室内でも落ち着いて過ごすことができるようにしていく。
3	室内で運動遊びができるようになった。	・コーナーガードの設置。 ・走るときは滑らないよう、靴下を脱ぐように徹底。 ・机や椅子の移動。 ・登りたくなるような棚の撤去。 等を行った。	引き続き安全を確保しながら身体を動かすことができるよう、休憩の時間を設ける、散歩等を取り入れながら過ごせるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	下校時間が重なると、見守りや送迎の人員が手薄になることがある。	・人数に合った職員数の配置ではあるが、学校数に対する職員数、車が不足している。 ・職員の人員不足。（希望休が重なったり、急な病欠など） ・児童 2 人対職員 1 人の配置ではあるが、送迎の場合は2対2の配置が求められている。 ・移転に伴う学校数増のため。	パートタイムの職員や、送迎専門の職員を配置する。 系列事業所から応援の職員を派遣してもらう。
2	放課後児童クラブとの関わりが薄い。また、保護者会の開催ができていない。	・特別支援学校在籍の利用が半数を占めており、各学校の支援学級在籍児童数がそれぞれ1～2人と少ないため。 ・利用児童数、送迎が必要な学校数が増え、放課後の時間帯は送迎によって職員数が手薄になるため。 ・保護者会に関しては、保護者様からのニーズがなかった。	現段階では放課後児童クラブとの交流や土曜祝日の保護者会開催は難しい。 保護者会に関しては、ペアレン特研修の案内を継続して行っていくことで、保護者同士のつながりを持てるようにしていく。
3			